

製品安全データシート

製造者情報

会社 株式会社北海道環境バイオセクター
住所 北海道札幌市中央区南1条西19丁目
エスターロワイヤルビル 1F
担当部門 バイオ開発部忌避剤課
作成者 バイオ開発部 三國 康二
TEL(011)640-5288 FAX(011)640-5289
緊急連絡先 バイオ開発部
作成・改定 2008年 4月 1日

製品名 : バードコレンジャー
製品の種類 : 忌避塗料
主な用途 : 鳥類忌避・防水塗料

物質の特定 (危険有害物質を対象)

成分 : 海洋性ミネラルエキス・木の養分・スチレン・アクリル酸エステル共重合体・水

総水銀 : 検出しない (0.0005mg/L未満)
カドミウム : 検出しない (0.001mg/L未満)
鉛 : 検出しない (0.005mg/L未満)
六価クロム : 検出しない (0.04mg/L未満)
砒素 : 0.011mg/L
全シアン : 検出しない (0.1mg/L未満)

※ 砒素分析値(0.011mg/L)は一番厳しい基準である環境基準値の砒素基準値(0.01mg/L)とほぼ同値であった上
農業用水基準値(0.05mg/L)、水質汚濁防止法に基づく基準値(0.1mg/L)と比較しても大幅に低い値を示して
いるため、全く問題となる値ではない。

危険有害性 分類の名称 : 分類基準に該当しない。
危険有害性のコメント : 皮膚や粘膜に長時間又は繰り返し接触した場合、軽微な刺激性と炎症を起こす恐れがある。
環境影響 : 環境生物に影響を及ぼす恐れがある。
通常の手扱いは火災の危険性は低い。

応急処置 目に入った時 : 清浄な水で15分以上洗眼した後、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した時 : 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。
吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸入して、気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受ける。

火災時の措置 消火方法 : 初期消火には水、粉末消火剤を使用する。
消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス消火剤、砂、水

漏出時の措置 環境に対する注意事項 : 漏出物が河川等に流入しないように注意する。河川等に流入した場合は必要に応じ消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡する。
除去方法 : 少量の場合は、おが屑、土砂、パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。
多量の場合は、流路を毛布、土嚢等でせき止め、バキューム等で回収する。

取扱いおよび保管上の注意 取扱い 保管 : 容器はその都度密閉し、転倒、転落しないようにする。
凍結、直射日光を避け、屋内で保管する。容器は密閉し、
: 所定の場所に保管する。
: 保管時の温度は、5℃以下及び40℃以上にならないように
する。

暴露防止措置 設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を
設置する。状況に応じ局所排気装置を設置する。
保護具
呼吸器用 : マスクの着用が好ましい。
手 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。
目 : 側板付保護眼鏡。
皮膚及び身体 : 静電気防止加工・長袖作業衣

物理／化学的性質 外観 : 乳白色の水溶液 PH : 6.7 (26.7℃)
比重 : 1.03 臭気 : かすかな刺激臭
溶解度 : 水に可溶 揮発性 : なし
沸点 : 約100℃
融点 : 約0℃

危険性情報 引火点 : なし 安定性・反応性 : 接触による危険物質なし
可燃性 : なし 燃焼などによる有毒ガス発生 : なし
揮発性 : なし 爆発限界 上限 : なし、下限 : なし

有害性情報 (組織物質の有害性及び暴露濃度基準)
物質名 管理濃度 その他有毒性 : なし
組織物質に関するその他有害性情報 : なし
製品に関する有毒性情報 : なし

環境影響情報 引火の恐れがない。
魚毒性 : 測定データなし
河川等に流入した場合、エマルジョン中の樹脂の粘膜性の影響で呼吸
困難が生じ魚類が死亡する場合がある。

廃棄上の注意 残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。
及び包装容器 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬
業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し
適正に処理する。

運送上の注意 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
陸上輸送 : 法規に該当しない。
海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

適用法令 次のいずれの法律にも該当しない。
化審法、労働安全衛生法、消防法、毒物および劇物取締法、PRTR法

その他の情報 : 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により
改訂されることがあります。また、注意事項は通常の手扱いを対象にしたものであって、特別な
取扱をする場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用下さい。記載内容は情報
提供であって、保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分でないので、
取扱いには十分注意してください。